



**A**

**生きびな祭【最終話】**

**飛騨生きびな祭**  
毎年4月3日に、飛騨一宮水無神社で開催される恒例行事。飛騨地方ではひな祭りが通常より1か月遅く、生きびな祭もそれに合わせ、養蚕や農業の繁栄と女性の幸福を祈念し行われます。1952年に始まり、飛騨一円より選ばれた未婚の女性9人が内裏や后、左大臣、右大臣、官女などきらびやかな生きびな様に扮し、水無神社周辺を練り歩きます。

場 所: 飛騨一宮水無神社(高山市一之宮町5323)  
問合せ: ☎0577-53-2001  
開催日: 4月3日(毎年)

**B**

**飛騨一宮水無神社【最終話】**  
飛騨国の一宮として古くより飛騨人の心の拠り所として存在し、飛騨生きびな祭や例祭、初詣などに、多くの参拝者が訪れます。

住所: 高山市一之宮町5323 ☎0577-53-2001

**C**

**桜(臥龍桜)【最終話】**  
幹枝の形が龍の臥した姿に似ていることから名付けられた国指定天然記念物の桜です。樹齢1100年余りで日本を代表するエドヒガンザクラの大樹です。

住所: 高山市一之宮町226-2(臥龍公園内)

**D**

**温泉(平湯の湯)【7話】**  
平湯民俗館内にある露天風呂で、四季折々の自然と、平湯の良質な温泉を楽しむことができます。

住所: 高山市奥飛騨温泉郷平湯(平湯民俗館内)  
☎0578-89-3338(ひらゆの森)

**E**

**アルプス街道平湯【7話】**  
平湯バスターミナルにある施設で、レストランや売店のほか、3階には天然温泉浴場があります。

住所: 高山市奥飛騨温泉郷平湯628  
☎0578-89-2611

**DATA**

**氷菓 あらすじ**  
省エネを信条とする高校一年生、折木奉太郎は、ひょんなことから廃部寸前のクラブ「古典部」に入部することに。「古典部」で出会った好奇心旺盛なヒロイン、千反田える、中学からの腐れ縁、伊原摩耶花と福部里志。彼ら4人が神山高校を舞台に、数々の事件を推理していく青春学園ミステリ。「わたし、気になります!」奉太郎の安穏とした灰色の高校生活が、この一言で一変してしまっ!!

**氷菓 原作者 米澤穂信氏について**  
1978年岐阜県生まれ。2001年第5回角川学園小説大賞ヤングミステリー&ホラー部門奨励賞を『氷菓』で受賞しデビュー。主な著作として『氷菓』『患者のエンドロール』『クドリヤフカの順番』『遠まわりする雛』(角川書店)、『さよなら妖精』『春期限定いちごタルト事件』(東京創元社)、『ポトルネック』(新潮社)、『インシテミル』(文藝春秋)、『追想五断章』(集英社)等がある。

**「氷菓」舞台探訪マップ**  
高山市商工観光部観光課  
〒506-8555  
岐阜県高山市花岡町2-18  
TEL.0577-32-3333(代)  
TEL.0577-35-3145(直)  
FAX.0577-35-3167  
e-mail:kankou@city.takayama.lg.jp  
HP http://kankou.city.takayama.lg.jp/(2017.7発行)

# 氷菓 HYOUKA



**氷菓  
HYOUKA**  
×  
**飛騨高山  
HIDA TAKAYAMA**  
**舞台探訪マップ**

わたし、飛騨高山が  
気になります!

